



平成29年度 事業報告

1. 社会福祉法人 童心会（本部）

1) 童心会の経営理念

童心会は今、社会資本の一つとして「地域の子ども家庭支援」の大切な役割を担っている。そこで、私たちは郷土に受け継がれてきた「気候、風土、文化、歴史、宗教」を見つめながら、この 21 世紀の社会の変化を先見し“生活や福祉”をデザインし、時代の変化に対応しうる理念「尽・還・実・育」を持つ法人として「利用者の最善の利益の実現」に向けて、公的役割を遂行しなければならない。

2) 童心会の事業目的(全保育所 共通)

児童福祉法に基づき何らかの理由で、保育に欠ける乳児・幼児を対象に保育することを目的とした児童福祉施設である。

子どもたちの心は“人間性豊かなより多くの人たち”との毎日の生活の中で「ふれあいと見守り、抱きしめ言葉」を通して「思いやりと生きる力」が育てられるものであり、保育所は子どもたちが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、時代の変化に対応した保育を創造し、実践する必要がある。よって、子どもたち一人ひとりが、人格を持った人間としてお互いが認められ“生まれてから死を迎えられるまでの一生”を人間教育の場として捉え「人間として如何に生きるべきか」を学ぶための原体験を創ることを目的としている。

～ 利用者の最善の利益の実現 ～

1.愛された育ちの保障（保育ケア・ワーク）

2.保護者や地域の子ども家庭支援（ファミリーソーシャル・ワーク）

3.保健・福祉・医療・教育との協働（保育ソーシャル・ワーク）

4.保育所から始める地域コミュニティ創り（コミュニティケア・ワーク）

5. 新しい子育て文化の創造（未来の親づくり）

3) 童心会の H29 年度 活動内容

① 理事長講演及び執筆活動

主に、理事長自ら講演・講師(3ヶ所)を実施

i 講演：全国社会福祉協議会主催

「第 61 回 全国保育研究大会フリー発表」

テーマ:先進国の縦断研究調査に学ぶ

～英・独の研究成果や課題から見る新しい保育の創造～
〔0 歳からの人間教育(保育)の創造〕

ii 講演 : 近未来保育研究所

iii 講師 : 東京福祉専門学校(東京江戸川区)
年 1 回実施
当学生を対象に特別講師として「特別講演」実施

② 法人体制の強化(報告会及び研修会)

i 平成 29 年度においても、体制強化を目的に部会報告、園長会、主任会、リーダー会、新人会、調理会、子育て支援 C 会、保育所保健部連絡会を通じた保育の本質研修及び内部提案の意識向上。

ii 中長期計画(3カ年計画)の結果

中長期計画(3カ年計画)は最終年度であり、1～2 年目は『組織』と『人材』の基礎を固められた結果を最終年度である平成 29 年度は更なる組織強化と人材育成、そして事業を拡張させた。

『組織』 : 理事長集中体制を実施させ、法人の保育理念を全園に円滑且つ公平に研修を受講実施し職員の保育の幅を広げた

『人材』 : 組織から個＝チームへと推進し外部専門指導員を委託し人材育成プログラムの実施(新人 3 回、リーダー 2 回実施)。また、人材採用においても平成 29 年度においては平成 30 年度につながる採用者は合計「42 名」であった。(柏市合同就職説明会 2 回参加、近未来保育所主催就職説明会千葉県の 7 大学に訪問)。

『事業』 : 賃貸による認可保育園(柏 ECEC 保育園)設置
3 年間の経営安定及び事業確立を高めた結果である。
詳細は柏 ECEC 保育園の事業計画参照

iii 理事長職の集中体制

平成 29 年度は理事長である中山勲が各園及び各部会に自ら参加し、上述の組織強化と人材育成を強化させた。法人の「保育理念を科学」する為、継続的に理事長の役割を強化推進する土台を確立させた。

研修名	年間講義数
各保育園(全職員対象)	週 2 園訪問(年間 92 回実施)
園長会	12 回
主任会	6 回
献立会	12 回
保育所保健部会議	6 回
リーダー研修	12 回
4、5 歳児体操研修	2 回
合計	142 回開催

2. 柏さかさい保育園

1) 事業内容(KS)

- ① 保育所の運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業他、保育事業として延長保育促進事業を実施する。

- 開園して8年となるなかで、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育ててきました。 幼児組は日々の活動に課題を見つけチャレンジする意欲が育ち、1、2歳児各24名が30分間朝会に集中して参加したり、一周320mのマラソンコースを走り切ったりと、子供たちが童心会の保育理念のもとしっかりと成長している結果が見られた。 また、2歳児はリーダー活動の一つとして乳児朝会で進行をするなど、人の前で話す体験を重ね非認知能力を育て、4、5歳児は行事に対して一つ一つ子供たちが話し合い、認め合いながら自分たちで作り上げ多くの「がんばること、つづけること、がまんすること」を実体験した。

- お泊り保育では5歳児がつくば市にあるふれ合いの里へ行き 筑波山登山を体験し、多くの新しい発見と感動、チーム力、達成感を得ることができた。4歳児は初めての園外でのお泊り保育となったが、どちらも「自分でできた、みんなとできた、人のために出来た」を経験し、成功体験と共に情緒の成長も見られた。

- 近隣の老人福祉施設との異年齢交流、公・私立保育園とのドッジボール・リレー大会交流、柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園とのマラソン交流、5歳児の逆井小学校との交流等、様々な人との交流を通し、他者理解認め合う気持ちを養い、社会を知ることが出来た。

- 南部地区幼保こ小連絡協議会の当番園となり、公開保育を行い、本園の保育目標の元作られている保育カリキュラムや園児たちが主体的に活動する異年齢児交流保育に多くの関心を持っていただき、本園園児の育ちを知ってもらう機会となり各小学校との連携を図ることが出来た。

- 知的的に遅れのおそれのあるお子さんや集団での生活が苦手なお子さんに対して、地域保健福祉課、ウェルネス発達支援センターなどの行政と連携を取り適切な支援を行うことが出来た。

- 2・3・4・5歳児は公園里親ボランティアで公園のトイレ掃除や地域の清掃活動をやり、人のためになる喜びを学んだ。

○ 子育て支援まことちゃんの利用者も口コミで増え、予約が必要なものはすぐにいっぱいになっている。その際に育児に対する悩み等を聞いたりして、地域親として育児支援を行った。

○ 保育士養成校9校 14名、慈恵柏看護専門学校7名の実習を受入れ、内3名は平成30年度の新採職員となる。他、近隣の小学校の街探検、中学校2校の職場体験、安孫子東高等学校のインターシップの受入れを実施。

2) 児童の在籍状況(KS)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	16	48	23	47	134
5 月	18	48	23	48	137
6 月	21	48	24	48	141
7 月	24	48	24	48	144
8 月	24	48	24	48	144
9 月	24	48	24	48	144
10 月	24	48	24	48	144
11 月	24	48	24	48	144
12 月	24	48	24	48	144
1 月	24	48	24	48	144
2 月	24	48	24	48	144
3 月	24	48	24	48	144
計	271	576	286	575	1,708

3) 保育園の保守管理(KS)

当園は、定期的な清掃及び修繕点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KS)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練
引渡し訓練(地震)	年 1 回	
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KS)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)蟯虫卵検査、尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法など職員研修を実施。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KS)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。その他に保育園のインターシップや地域交流も積極的に実施した。

姉妹園である柏中央保育園や牛久みらい保育園との大きな交流として、良い刺激となった。また、今年度は公立保育所(土南部保育園)との年中児及び年長児による交流を実施した。年長児は逆井小学校1年生との交流も行い就学に期待を持つきっかけ作りになった。

実施月	行事名
4 月	・進級式・入園式・春まつり
5 月	・バス遠足・こどもの日のつどい・蟯虫検査 ・4, 5歳児 尿検査・歯科検診・公園里親ボランティア
6 月	・4, 5歳児 スポーツテスト・個人面談・内科検査

	・さくら組 お泊り保育・公園里親ボランティア
7 月	・視力検査(5 歳児)・七夕の集い・ひまわり組 お泊り保育 ・プール開き
8 月	・5 歳児お年寄り交流(柏あんしん館)・夏まつり
9 月	・視力検査(4 歳児)・引渡し訓練・さくら組水泳大会 ・プール納め・公園里親ボランティア・たんぽぽ組 お泊り保育 ・ふれあいパーティー
10 月	・親子運動会・交通安全教室・秋の鑑賞会 ・ハロウィンクッキング
11 月	・10km ウォーク 5 歳児・5kmウォーク 4歳児 ・バス遠足(1歳児～3歳児)・南部中学校 職場体験 ・カスミ食育体験・さくら組 逆井小学校1年生との交流 ・安孫子東高等学校 インターシップ
12 月	・クリスマス生活発表会・内科健診・高柳中学校 職場体験
1 月	・冬まつり・マラソン記録会(1回目)
2 月	・マラソン記録会(2回目) ・柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園交流会(4歳～5 歳児 マラソン交流会) ・お父さん、お母さんありがとうの会・節分豆まき集会 ・視力検査 3歳児 ・土南部保育園、高柳西保育園交流会 4、5 歳児 (リレー、ドッジボール) ・公園里親ボランティア 5歳児・卒園遠足
3 月	・ひなまつり集会・おにいさんおねえさんありがとうの会 ・卒園式

※ 誕生会、映画会、身体測定、ボランティア活動、歩く会は毎月実施

※ 実習生は随時受入(年間10名の受入)

本年度は 慈恵柏看護学校 母性看護学実習 7 名
道灌山学園保育福祉専門学校 2 名
東京こども専門学校 2名、千葉女子専門学校 1 名
東京家政大学 4名、 千葉経済短期大学 1名
東洋大学 1名、 東京教育専門学校 1名
江戸川大学総合福祉専門学校 1 名
未来大学 1 名

7) 職員の充足状況(KS)

① 定員120名 弾力運営 144 名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
定員	20名	20名	20名	20名	20名	20名

② 職員の配置基準とその配置

☆ 職員配置基準

区分	0 歳児	1・2歳児	3 歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

☆ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	22名	3名	26名

② 現員(平成30年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	主任 保育士	副主任 保育士	保育士	看護師
配置	1名	1名	1名	1名	24名	1名
区分	サポーター	みなし	調理員	事務員	全職員46名	
配置	7名	2名	4名	3名		

※ 理事長(スーパーバイザー)は別途カウントなし

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士 3 名を雇用

3. 柏中央保育園

1) 事業内容(KC)

柏中央保育園も柏さかさい保育園と同様に下記3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業
他、保育事業として延長保育促進事業も実施する。

駅近ということもあり、都内で就労する保護者も多く、19 時以降延長保育を利用する園児は平均 20 名維持している。

・ 里親活動

感謝の気持ちを大事に出来る子に育つよういつも使用している公園の清掃活動を定期的に行い感謝の気持ち、公共の場の使い方など伝える保育を行う

- ・ 基本的生活習慣を大事に衣服の着脱、トイレトレーニング、食事のお約束、フォークや箸の持ち方、人との関わりなど、生きるために必要なことを、保育園という小さな社会の中で学び、たくさんの刺激ある暮らしの中で、

『ひとりでできるみんなでできる 人のためにできる』

ことを増やしていく。

- ・ 本園は、園庭がないため園外活動に力を入れている。散歩、買い物、見学など、目的をもって充実した時間を持てるよう計画的に行っている。園バスを利用しての活動もあり、いろいろな経験体験の中で、『イキイキ・ワクワク・ドキドキ』を感じられるような時間が持てるよう推進している

2) 児童の在籍状況(KC)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	11	36	20	36	103
5 月	12	36	20	37	105
6 月	12	36	20	37	105
7 月	12	36	20	37	105
8 月	12	36	20	37	105
9 月	12	36	20	37	105
10 月	12	36	20	37	105
11 月	12	36	20	37	105
12 月	12	36	20	37	105

1 月	12	36	20	37	105
2 月	12	34	20	37	103
3 月	12	34	20	37	103
計	143	428	240	443	1,254

3) 保育園の保守管理(KC)

当園では、毎日の掃除及び定期的点検実施

玩具に破損部分がないか定期的に確認すると共に、乳児クラスの玩具については、毎日、電解水を使用し衛生的環境が保てるように心掛ける
 幼児クラスの玩具についても電解水を利用し定期的に清掃すると共に毎日、園児が自分で作った雑巾を使用し水拭き掃除を行う

4) 消防・地震計画(KC)

地震火災が起きたことを想定しての避難訓練、引き渡し訓練、夜間訓練は勿論のこと、避難場所の確認、避難靴、非常食など、職員、そして保護者との共通理解できるよう実施した。 8 月には、同ビルの KDDI と一緒に合同避難訓練を行う。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	夜間(夕方)訓練 1 回実施
引き渡し訓練	年 1 回	保護者への周知
消火訓練	年 1 回	職員参加
不審者訓練	年 1 回	
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ報告(義務年 1 回)
その他	年 1 回	119 番通報訓練

5) 保健衛生(KC)

病気、怪我、感染症には細心の注意を払い、感染症が流行した時には、病名を掲示板で周知すると共に、病気に負けない強い体づくりを心掛けて頂けるよう、全保護者へ食事、睡眠の重要性について再確認のため「ママ連メール」等で周知した。

このように、感染が拡大しないよう注意を払うことは勿論、園児たちの健康管理として年 2 回の内科検診、年 1 回の歯科検診を実施した。その他にも、尿検査を実施、職員に関しては、月 1 回の腸内細菌検査を実施している。看護師がクラスを巡回しての病気等の相談、子育て支援での育児相談会、怪我をした子の対応など、保育士にとって安心できる存在となる。

10 月から 3 月までは感染性胃腸炎、インフルエンザが流行する時期のため、室内の消毒も塩素系の殺菌剤を使用し行う。設置当初から各部屋に加湿器

を設置し、特に感染症が流行する冬時期には、掃除、消毒等、清潔に維持するよう心掛けた。看護師による衛生面での指導をリーダー会議で定期的に行う。

6) 各種幼児の実施状況(KC)

実施月	行事名
4月	入園進級式・春まつり・内科検診・ピクニック
5月	子どもの日の集い・蟻虫検査・尿検査・バス遠足(2歳児から5歳児)・5歳児10キロウォーク
6月	個人面談・5歳児お泊り保育(筑波山登山)
7月	視力検査・七夕の集い・プール開き・夏まつり・防火教室 4歳児お泊り保育(猿島少年自然の家)
8月	夏まつり・KDDIとの合同避難訓練
9月	引き渡し訓練・視力検査(4・5歳児)・おじいちゃんおばあちゃんふれあいパーティー
10月	ボランティア活動・親子運動会
11月	交通安全教室・秋まつり(保護者会主催)・第1回マラソン記録会
12月	クリスマス生活発表会・クッキング・内科検診・もちつき
1月	第2回マラソン記録会・交通安全指導
2月	バレンタインクッキング・童心会マラソン交流会・視力検査(3歳児)・冬まつり
3月	卒園遠足・ひなまつり会・ありがとうの会・卒園式・入園説明会

※誕生会、身体測定は毎月実施

7) 職員の充足状況(KC)

① 定員90名 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	10名	16名	16名	16名	16名	16名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1 名	18 名	2名	21 名

③ 現員(平成30年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	みなし	サポーター
配置	1 名	2名	23名	2名	3名
区分	調理員	事務員 (保育士兼務)	全職員34名		
配置	3名	1 名			

- ※ 栄養士は柏さかさい保育園と兼務
- ※ みなし=子育て支援員
- ※ 保育士数のうち派遣保育士7名を雇用

4. 牛久みらい保育園

1) 事業内容(UM)

牛久みらい保育園は、平成25年4月1日にひたち野うしく駅西口から徒歩15分のところに開園し、下記の3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、② 地域子育て支援拠点事業、③ 一時預かり事業

その他、保育事業として、体調不良、病後児保育、延長保育促進事業も実施する。

また、今年度より弾力運営が認められ、定員より追加で 6 名の受け入れを行った。牛久市の待機児童の解消への貢献および、委託費収入の増へつながった。

- ・ 牛久市は、行政の横の連携がとれており、保育課も大変協力的に相談を受け入れていただいている。昨年に引き続き、市の無料バスで茨城大学への農業体験や遠足など園外活動に出かけることができた。また、保幼小の連携会議、小学校の行事(給食試食会、運動会)への参加、気になる子のケース指導のための巡回相談(年5回)、交通安全教室(毎月実施)、保健センターや家庭児童相談室との情報の共有等、市の各機関と連携をとりつつ保育を進めた。
- ・ 茨城大学農学部が車で15分程のところにあり(阿見町)、広大な農園での農業体験をさせていただいた。田植え、梨の花の観察、梨狩り、ジャガイモ掘り、さつまいも掘り、人参掘り、パン作りなど園ではできない貴重な体験をさせていただいた。茨城大学 COC 地域人材育成プロジェクト事業にも協力し文部科学省「地(知)の拠点整備事業」としても採択されている。
- ・ 子育て支援センターとしおちゃんの活動は、食事体験会、親子製作に加え、看護師による育児講座、音楽リズム遊びなど各種講座を実施。また、おしゃべり会や、ママの手作り製作など保育園に来たママたちもホッとしてリフレッシュできるような企画も実施。年間では利用者793名(前年度736名)まで増えた。来園された際に育児相談を受けたり、園児と園庭で一緒に遊んだりするなど、地域の保護者とのつながりを深めながら育児支援を行った。
- ・ 病後児保育事業については、昨年に引き続き、市役所保健センター利用者への事業案内を積極的に行い、新規登録112名、累計では 609 名となった。また利用人数は64名(前年58名)であった。今後、保護者支援のため、より利用しやすい事業を目指し保育課及び医師会との連携をとりながら進めていく。

- ・ 保護者会『みらいファミリー会』の取り組み
夏まつりへの出店、みらいファミリー文庫運営、秋まつりで保護者のお仕事紹介、おそうじ会、クリスマス生活発表会での合唱、フォトコンテストと積極的に活動が行われた。今年度のおそうじ会は新たな試みとしてパパ限定にして駐車場のロープ張りを行った。パパ同士の交流を図ることができ、次年度へつながる活動になった。今後、より連携を取りながら童心会の目指す“村づくり”をすすめていく。

2) 児童の在籍状況(UM)

区分 月	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	計
4 月	9	29	15	37	90
5 月	9	33	15	37	94
6 月	9	33	15	37	94
7 月	9	33	15	37	94
8 月	9	33	15	37	94
9 月	9	33	15	37	94
10 月	9	33	15	37	94
11 月	11	33	15	37	96
12 月	11	33	15	37	96
1 月	11	33	15	37	96
2 月	11	33	15	37	96
3 月	11	33	15	37	96
計	118	392	180	444	1134

3) 保育園の保守管理(UM)

当園では毎月「清掃強化日」を設け、日頃の清掃で行き届かない箇所の清掃を実施している。また保育室では、病気・感染症の予防のためにマニュアルに基づき室内の消毒及び玩具の定期的な消毒を徹底している。
また、市役所より放射線量の測定に来ていただき、測定結果を園の掲示板にて保護者へ通知をしている。(牛久市内保育園では一番低い値となっている)

4) 消防・地震計画(UM)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月1回	地震・火災・竜巻・夜間対応・抜き打ち訓練含む
消火訓練実習	年1回	職員参加
防火装置の点検	年2回	消防署へ連絡
その他	年4回	119番通報訓練 職員

5) 保健衛生(UM)

園児：嘱託内科医による内科健診(年2回)、嘱託歯科医による歯科健診(年2回)及び尿検査を実施。また看護師による歯磨き・手洗いなどの保健指導の実施。

職員：健康診断(年1回)、腸内細菌検査(毎月)を実施、また看護師による感染症対策、救急処置方法などについて研修の実施。

保護者：ほけんだよりの発行(毎月)、エントランスに設けた「ほけんコーナー」にて保育園の感染症の状況などの掲示を行った。

6) 各種行事の実施状況(UM)

実施月	行事名
4月	・入園式 ・梨の花観察(4・5歳児)
5月	・こどもの日のつどい ・春まつり ・田植え体験(5歳児) ・春のバス遠足
6月	・パパ保育体験 ・保護者面談 ・ひたち野うしく小学校2年生 町探検で来園 ・牛久市4・5歳児研修会公開保育 ・内科健診 ・歯科健診 ・4・5歳児お泊り保育(あすなろの里にて)
7月	・プール開き ・七夕のつどい ・食育指導 ・ジャガイモ掘り体験(4・5歳児)
8月	・夏まつり(ひたち野ふれあいまつり) ・梨狩り体験(4・5歳児)
9月	・プール納め ・3歳児お泊り保育(本園にて) ・音楽鑑賞会 ・おじいちゃんおばあちゃんふれあいの会
10月	・運動会 ・秋まつり
11月	・ひたち野うしく小給食試食会 ・筑波山登山(5歳児) ・人参掘り体験 ・秋のバス遠足 ・マラソン記録会①

12 月	・クリスマス生活発表会 ・もちつき ・大掃除
1 月	・内科健診 ・童心会マラソン交流会(4 歳児)
2 月	・冬まつり ・節分豆まき ・茨大パンづくり体験(5 歳児) ・童心会マラソン交流会(5 歳児) ・歯科健診 ・マラソン記録会②
3 月	・ひなまつりの会 ・卒園遠足 ・入園説明会 ・さくら組さんありがとうの会 ・卒園式

※ 誕生会、映画会(幼児・乳児)、身体測定、交通安全教室は毎月実施

※ 実習生受け入れ(年間 5 名 うち 2 名の学生を採用しました)

聖徳短大 1 名 東洋大学 2 名 東京未来大学 1 名

東京家政大学 1 名

7) 職員の充足状況(UM)

① 定員 90 名

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	15 名	90 名

② 職員の配置基準とその配置

※ 職員配置基準(園児:職員)

区分	0 歳児	1・2 歳児	3 歳児	4・5 歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1 名	12 名	2 名	15 名

※上記配置基準は特別保育事業の加配人員は除く

③ 現員(平成 30 年 3 月 1 日現在)

区分	園長	副園長兼事務長	主任保育士	保育士	看護師
配置	1 名	1 名	1 名	20 名	3 名
区分	サポーター	栄養士	調理員	事務員	全職員
配置	1 名	1 名(本部所属)	4 名	1 名	33 名

5. 柏しんとみ保育園

1) 事業内容(KT)

柏しんとみ保育園は、平成27年4月1日より開園し3年が過ぎました。流山市に隣接され園見学に来られる保護者も多く来園されます。事業は2事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。なお、地域子育て支援拠点事業は隣接している為市からは不認可だが、園庭開放など近隣の子育て仲間とのコミュニケーションを図る為行っています。長期戦略から独自に実施している。

◇保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てています。
- ・ 昨年同様2週に1回、外部委託の専門員による運動遊び体操指導活動
- ・ 昨年より柏中央保育園の専門的先生による、音楽リズム(リトミック)を取り入れ、音楽リズムを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。又5歳児対象に楽器に触れ、音楽指導を行う。
体操指導も同様であるが、人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする(4, 5歳児)。
- ・ 野菜を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さを知る。又柏さかさい保育園近隣の日暮さんの畑に入って良いという経験と、大根ほり体験は、保護者にも好評でご迷惑にならぬよう続けていきたい。
- ・ 地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事や歩く体力も意識して行う。

◇地域貢献

- ・ 『夏まつり』 地域へ発信し地域参加を呼びかけ地域交流も深める。
- ・ 『地域交流会や子育て支援』独自に活動を行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え努めるよう心掛けています。
- ・ 『公園里親活動』3, 4, 5歳児が園周辺の清掃活動を行い地域へ対するボランティア活動を行う。

- ・ 小学校接続を目的とした、幼保小連携及び小学校との交流(子ども、職員)を積極的に実施していく。

◇保護者との共同

- ・ 保護者会設立に向け、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりとしていく。

2) 児童の在籍状況(KT)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	6	38	18	33	95
5 月	10	38	18	34	100
6 月	9	38	18	34	99
7 月	11	38	18	34	101
8 月	13	38	18	34	103
9 月	13	38	18	34	103
10 月	13	38	18	34	103
11 月	13	38	19	34	104
12 月	13	38	19	34	104
1 月	13	38	19	34	104
2 月	13	38	19	34	104
3 月	13	38	19	34	104
計	140	456	221	407	1,224

3) 保育園の保守管理(KT)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

※毎月第1木曜日 PM2時より職員による、安全確認と全体清掃日を実施

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KT)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐ

ため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備 考
非常災害訓練	月 1 回	時間外(朝と夕方)訓練各 1 回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練
防犯訓練	3回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年 1 回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年 1 回	職員参加
防火装置の検査	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 1 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KT)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)蟻虫卵検査、尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法、又理事長研修をはじめクラスリーダー研修、子育て支援、事務、献立会議など童心会各園の担当職員研修を実施。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KT)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のおまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。また、姉妹園である柏中央保育園や柏さかさい保育園や牛久みらい保育園との大きな交流会は、良い刺激となり、より意欲が湧く会となった。又年長児は柏市立旭小学校1年生との交流や就学に向け学校探検にも参加することが出来就学に期待を持つ良いきっかけづくりとなった。

月	行 事
4	入園式、進級式、お花見、子どもの日の集い
5	春まつり、子どもの日の集い、尿検査(4, 5歳児)、バス遠足(2, 3, 4, 5歳児)、内科検診、
6	個人面談、スポーツテスト、歯科検診、視力検査(5歳児)
7	プール開き、七夕の集い、お泊り保育(5歳児)、夏まつり
8	お泊り保育(4歳児・3歳児)
9	引き渡し訓練、敬老の集い、ボランティア活動
10	親子運動会、食育活動、ボランティア活動、秋の鑑賞会
11	バス遠足(2・3・4・5歳児)、交通安全教室、ボランティア活動、手賀沼ウォーク(5歳児)
12	クリスマス生活発表会、冬まつり(おもちつき)、大掃除
1	マラソン記録会、年長児学校訪問、内科検診 ボランティア活動
2	節分・豆まきの会、4 園合同マラソン交流会、思い出バス遠足、視力検査4歳児
3	ひなまつりの集い、入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・体操指導・音楽リトミック・食育活動

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待、お食事と保育参観

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(90名) 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	13名	19名	19名	19名	19名	19名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

● 園児 : 職員

☆ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	19名	3名	24名

② 現員(平成30年3月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	20名	0名	3名
区分	サポーター	みなし	事務 (他1名保育士兼務)	全職員33名	
配置	2名	4名	2名		

- ※ 栄養士は柏さかさい保育園と兼務
- ※ みなし=子育て支援員
- ※ 保育士数のうち派遣保育士3名を雇用

6. 柏 ECEC 保育園

事業経過報告書

平成 29 年 04 月	柏市 認可保育園の設置・運営希望申込書 提出
平成 29 年 06 月	柏市 認可保育所整備・運営者応募 1 次審査 選定
平成 29 年 06 月	柏市 認可保育所整備・運営者 候補者 選定
平成 29 年 10 月	(仮称) 柏 ECEC 保育園舎 改装工事 入札実施 落札者 株式会社 安田建設
平成 29 年 10 月	平成 29 年度 第 3 回 理事会開催・第 2 回 評議員会開催 柏市 認可保育園の整備・運営の承認
平成 29 年 10 月	定期建物賃貸借契約書 正式締結 有限会社 ハクゼン恒産
	工事請負契約書 締結 株式会社 安田建設
平成 29 年 12 月	設計・工事監理業務委託契約書 締結 有限会社 東葛一級建築士事務所
平成 30 年 01 月	建築確認済証発行
平成 30 年 03 月	平成 29 年度 第 4 回 理事会開催・第 3 回 評議員会開催 各種契約締結及び施設整備（改修工事）資金借入の承認
平成 30 年 03 月	(仮称) 柏 ECEC 保育園舎 竣工式



< 正 面 >

社会福祉法人童心会 柏 ECEC 保育園 新設事業内容

一、事業目的

第二種社会福祉事業

(1) 保育所 柏 ECEC 保育園の経営

(2) 一時預かり事業

二、施行者 株式会社 安田建設

三、着 工 平成 30 年 01 月 15 日

四、竣 工 平成 30 年 03 月 17 日

五、施設概要

所 在 地 千葉県柏市柏 6 丁目-4-26 ハクゼンビル 1 階

敷地面積 1,070.84 m²

建物規模及び構造

鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 7 階建

延床面積 2,992.12 m²

六、総事業費 約 103,000 千円

賃貸借料、設計・管理費、改修工事費及び設備等関係費等

七、運営内容

1、保育所

(1) 保育児定員

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	合計
8 人	12 人	15 人	15 人	30 人	80 人

(2) 職員定数

常 勤 職 員 18 人、 非常勤職員 4 人

(3) 事業開始年月日

平成 30 年 4 月 1 日

(4) 保育目標「思いやり と 生きる力」

通園児童は、保護者との接触の機会に恵まれないものが多いため、本園においては、児童の精神的安定を図るとともに、清潔のしつけ、規律ある生活習慣の体得を図る。

(5) 開園日及び開園時間

月曜日から土曜日

午前 7 時 00 分から午後 8 時 00 分

(6) 保育内容

デイリープログラム（日課）については、児童の年齢に応じ保育士と園長が協議して定めるが、おやつの支給、お昼寝等は必ず含まれるように配慮する。

月間及び年間計画等については、職員会議で協議して定める。

(7) 保育担当者

担当保育士を定め、園長は総括的指揮をとることとする。

(8) 保育設備

保育室等配置は平面図に表示

2、一時預かり事業

事業の目的と内容

専業主婦の育児疲れの解消、急病や断続的な勤務等、勤務形態の多様化に伴う一時的な保育に対応する。

- | | | |
|-----|-------|---------------------|
| (1) | 施設の面積 | 5.68 m ² |
| (2) | 利用定員 | 概ね 3 人/日 |
| (3) | 職員 | 職員 2 名 |
| (4) | 事業区域 | 柏市内全域を予定 |